

第5期雄武町総合計画前期基本計画 施策評価調書（兼政策評価基礎調書）

政策目標	2	ぬくもり・雄武	整理番号	38
基本施策	11	社会保障制度の充実	評価責任者	住民生活課長 渡邊孝司
単位施策	2	年金相談対応等の充実		

1 施策の概要

基本方針	年金制度の意義や役割、各種の保険料免除制度について、広報・相談を充実するとともに、各種申請の受理・進達などの業務の円滑化を推進する。また、国の社会保険庁改革に対応し、業務実施体制を整備していく。	
現状と課題	【現状】（平成21年度末）	【現状】（平成23年度末）
	社会保険庁から日本年金機構への移行に伴い、事務処理の効率向上を図るため、システム改修等に取り組み正確かつ迅速な事務処理に努めている。	「ねんきんネット」を活用した迅速かつ正確な窓口サービスと年金情報の広報活動に努めている。
	【課題】（平成21年度末）	【課題】（平成23年度末）
	年金制度の意義や役割等についての広報活動や親切丁寧で円滑な、相談対応を行う必要がある。	年金制度の一元化や給付に係る負担方式などの制度改正が計画されており、情報収集に努めるとともに住民周知や相談体制の充実を図る必要がある。

2 基本施策指標

指標1	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標2	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標3	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標4	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標5	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標6	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							
指標7	指標名							
	定義等							
	年度	計画策定時（H19）	平成20年度	平成21年度	平成22年度	平成23年度	平成24年度	目標値（H24）
	目標値							
	実績値							

3 単位施策を構成する事務事業の評価結果等

【貢献度の区分 A：高い B：やや高い C：やや低い D：低い E：なし】

No.	事務事業名	担当係名	23年度 決算額 (千円)	総合評価	今後の 展開方向	単位施策への 貢献度
①						
②						
③						
④						
⑤						
⑥						
⑦						
⑧						
⑨						
⑩						
⑪						
⑫						
⑬						
⑭						
⑮						

4 施策の個別評価【A：評価が高い B：やや高い C：やや低い D：低い】

評価の視点	評価結果	理由、説明等
① 妥当性	A	社会保障の年金制度に対する町民サービスであり妥当である。
② 有効性	A	事務処理の効率化が質の高い住民サービスにつながっている。
③ 効率性	A	年金所得情報入力等の簡素化により、住民サービスの効率化が図られた。
④ 公平性	A	公的年金制度に対する町民サービスであり、公平である。
⑤ 町民意見の反映	A	町民の意見を聞く場は設けていないが、各種年金に対しての相談に対応している。

5 総合評価【A～D】

A：政策目標の達成に効果的であり、現在の施策を継続することが必要 等

B：政策目標の達成に効果的であるが、具体的な課題の解決に向けて一部取組を改善するなど、施策を充実することが必要 等

C：政策目標がほぼ達成されていることから、施策が一定の役割を終えつつあり、終期を見据えて縮減することが必要 等

D：(1)政策目標の達成に効果的であるが、事業構成が十分ではなく、新たな事業構築など取組を全体的に見直すことが必要 等

(2)政策目標の達成に向けた効果が認められないことから、施策の廃止も含めて抜本的に見直すことが必要 等

自己評価（一次評価）	評価会議評価（二次評価）	町長評価（三次評価）
A	A	
システム改修により事務処理の効率化が図られ、年金制度にかかる相談窓口や広報活動の充実など町民サービスの向上が図られた。	同左	

今後の方向性	今後の方向性	今後の方向性
継続／現状維持	継続／現状維持	
制度改正によって住民に不利益が生じないよう情報収集に努めるとともに、窓口業務に係る職員の知識向上を図る。	同左	

*今後の方向性の区分
継続／現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
終了
休止
廃止